

# 模擬授業 (13:50 ~ 14:50)

模擬授業の内容です。2つのブースにわかれて実施いたします。どちらかお選びいただき、受付でお渡しするチケットをご持参の上、ご参加ください。

※定員の関係でご希望に沿えない場合がございます。あらかじめご了承ください。

ブース

A

小学校 国語 「令和時代に求められる『新教科』をすいせんしよう」

放送大学大学院 (前金沢市立大徳小学校教諭) 山口 眞希 先生

事物を推薦するためには根拠を持って相手を説得することが必要であり、その事物にまつわる情報を収集・選択し、提示する資料や伝え方を吟味することが大切です。これらの活動を通して情報活用能力の育成が期待できます。また、ICT を活用することで情報が豊かになり、表現方法の選択肢も増えます。子どもの目線で体験し、教師の目線で指導のポイントについて一緒に考えましょう。

使用アプリケーション

小学校向け 教育用総合ソフト

キューブきっず ver.6

ブース

B

中学3年 理科 「月の見え方」

岩美町立岩美中学校 岩崎 有朋 先生

身近な天体の月だが、その満ち欠けは小学校から学んでいます。中学校では見かけの動きとその原因となる公転・自転という運動との関連を学びます。その内容をいくつかに分けて学び、それを持ち寄って新しい知を作ります。お互いに学び合う良さの中に、情報活用能力を育む場面をどのように組み込むか。模擬授業を通してみなさんと考える時間にしたいと思います。

使用アプリケーション

E-REPORT COMP

# 実践紹介 (14:55 ~ 15:55)

実践紹介の内容です。ブース A、B、C (全体会場を兼ねる) の3つのブースにわかれて実施いたします。各時間帯につき、1 実践お選びいただき、受付でお渡しするチケットをご持参の上、ご参加ください。

## ブースA

## ブースB

## ブースC

①

14:55  
15:15

小学4年 国語・社会・総合的な学習の時間  
「教科を横断して情報活用能力を育む  
授業デザイン」

A-1 ※

横浜市立宮谷小学校  
近藤 睦 先生

小学校4年国語科・社会科・総合的な学習の時間を組み合わせた学習の中で、子どもたちが目的意識・相手意識をもって情報発信を行い、それぞれの教科での力をつけていくことを狙った授業実践です。

※A-3と同じ内容となります

使用アプリケーション：キューブきっず 新聞

小学4年 総合的な学習の時間  
「ユニバーサルデザインから学んだことを  
伝えよう」

B-1 ※

浜松市立雄踏小学校  
菊地 寛 先生

自ら課題を見つけることができるようになること、集めた情報の中から、必要な情報を整理して発信できるようになることを学習目標に設定し、ユニバーサルデザインで学んだことから課題となることをポスターにまとめて、発信をしました。

※B-3と同じ内容となります

使用アプリケーション：キューブきっず リーフレット

小学3,4年複式学級 総合的な学習の時間

C-1

「観光アプリを開発しよう」

金沢大学附属小学校  
福田 晃 先生

総合的な学習の時間においてプログラミング教育実践を行いました。今回の実践のポイントは、探究的な学習サイクルの中にプログラミング教育を位置付けたことと、E-VOLVOX を活用してプログラミング的思考を可視化したことです。

使用アプリケーション：E-VOLVOX

②

15:15  
15:35

小学6年 総合的な学習の時間  
「未来の社会を創造しよう」

A-2

調整中

未来の社会を支える「AI」について、毎日たくさんのニュースが配信されています。そのニュースを分類していく活動を通して、人間は「AI」とどのように付き合っていけばよいかを考えます。

使用アプリケーション：E-VOLVOX

中学1～3年 プログラミング講座 (特別授業)

B-2

「iPhone アプリを制作する」

同志社中学校  
反田 任 先生

中学1年生から3年生までの生徒が混在する特別授業では「アプリ開発」に取り組んでいます。今回はアプリの一連の動作を考えるために思考を段階的に見える化する E-VOLVOX を活用します。制作するアプリの全体像を把握しながら開発に取り組むことができるので、アプリの動きをイメージしながら修正なども可能です。プログラミングと思考をE-VOLVOX でうまくリンクさせてみたいと思います。

使用アプリケーション：E-VOLVOX

小学4～6年 総合的な学習の時間  
「“ふりかえり”をアップデートする  
～自ら課題を設定する～」

C-2

さとえ学園小学校  
山中 昭岳 先生

主体性を育むためには、目標設定とふりかえりが大切です。本校では、PDCA サイクルを促す思考ツールであるKPTシートをふりかえりに活用しています。これにより新しい課題を見つけるためのふりかえりをめざしていますが、なかなか具体的な次の一歩を見出すことにはつながりません。そこで、E-VOLVOX を活用することで、多面的な視点で自らのできたこと、できなかったことを分類し、整理していく中で自らの特徴がみえてきて、具体的な課題設定へとつながりました。

使用アプリケーション：E-VOLVOX

③

15:35  
15:55

小学4年 国語・社会・総合的な学習の時間  
「教科を横断して情報活用能力を育む  
授業デザイン」

A-3 ※

横浜市立宮谷小学校  
近藤 睦 先生

小学校4年国語科・社会科・総合的な学習の時間を組み合わせた学習の中で、子どもたちが目的意識・相手意識をもって情報発信を行い、それぞれの教科での力をつけていくことを狙った授業実践です。

※A-1と同じ内容となります

使用アプリケーション：キューブきっず 新聞

小学4年 総合的な学習の時間  
「ユニバーサルデザインから学んだことを  
伝えよう」

B-3 ※

浜松市立雄踏小学校  
菊地 寛 先生

自ら課題を見つけることができるようになること、集めた情報の中から、必要な情報を整理して発信できるようになることを学習目標に設定し、ユニバーサルデザインで学んだことから課題となることをポスターにまとめて、発信をしました。

※B-1と同じ内容となります

使用アプリケーション：キューブきっず リーフレット

小学4,5年 理科

C-3

「学びの“共有”で高める理科学習」

関西大学初等部  
山本 直樹 先生

4年生の実践では、グループごとに育てている野菜作りの流れをE-VOLVOX の階層構造を利用してリング※にまとめ、他グループと共有します。また、5年生の実践では、メダカや人間などさまざまな生物の誕生までの過程をE-VOLVOX の階層構造を利用してリング※にまとめ、他グループのリング※と共有します。

※E-VOLVOX の機能の1つ

使用アプリケーション：E-VOLVOX